長崎倶楽部

No.39
2010.7.23

長崎県人クラブ事務局 〒160-0004 新宿区四谷1-10-2-412 tel:03(5366)4888 http://www.k2.dion.ne.jp/~nkenjin/ 発行人/山内 賢明

目次

- 巻頭インタビュー30 ／山内賢明 …… 1
- 講演録／松瀬　学 …… 6
- かいしゃ訪問／株式会社スガモ技研 …… 11
- 長崎関連イベント予告 …… 12
- 新人会員自己紹介・図書紹介 …… 13
- お悔やみ …… 13
- ふるさと遠めがね …… 14
- エッセイ …… 15
- TOPICS …… 16
- 新刊紹介 …… 21

題字：吉田 佳広



巻頭インタビュー30
私と長崎

山内賢明

長崎県人クラブ理事長
長崎県酒造組合会長
玄海酒造会長

当クラブの会員増強には趣向を凝らして
私の職場は壱岐市での焼酎づくりです…

今年5月の総会で長崎県人クラブの第5代理事長に就任。壱岐市の玄海酒造株式会社会長や長崎県酒造組合会長、東京雪州会会長などを務める東奔西走の日々。クラブ運営や焼酎の楽しい飲み方など話題は多岐に及んだ。（2010年6月10日取材　聞き手：牧山康敏、写真：宅島正二）

◆◆◆ 理事長就任は青天の霹靂 郷土のお役に立てばと…

――この度、当クラブ理事長に就任されましたが。

山内（◆）青天の霹靂で予想もしていませんでした。私の職場は壱岐での焼酎造りです。その関係で長崎県酒造組合の会長を務めています。また東京にもいますので壱岐市出身者の親睦団体である東京雪州会の会長でもあります。なぜ皆さんの目に留まったのか「釣り上げられた」感じですよ。最初はお断りしましたが、県人クラブや郷里長崎県のために私で何かお役に立てばという思いでお引き受けしたわけです。

――県人クラブと関わられたきっかけは。

◆　私が東京で大成建設の住宅関連の仕事をしていた時に、長崎出身の岡田悟さんに誘われて入会したのが始まりです。昭和50年代前

長兄の長男が一人前になるまで2年ぐらいの積もりで帰省しましたが焼酎経営は27年間に





半のことです。当時の理事長は財界で活躍され、当クラブを実質的に立ち上げた日本精工社長の今里広記さんでした。今里さんといえば、壱岐出身の電力王として戦後の九電力体制を築いた有名な松永安左エ門翁の薫陶を受けた人で、いわば安左エ門翁の「子分」です。その関係もあって入会しました。

――そこで理事長としての抱負を。

◆県人クラブの目的として会員皆さんの親睦と情報交換は当然のことです。また地元長崎県の情報を得たり、郷土を応援することだと理解しています。大事なことは会員増強を図ると同時に退会者を少なくすることです。年中行事である新年会や納涼会はもちろん春秋2回の文化講演会、会員増強のための各種行事などを充実し、一人でも多くの方に参加してもらう。皆さんが「参加してよかった」と感ずるような趣向が大事でしょう。

◆◆◆――日本人はいまこそ元気を出して心にゆとりを

――会員の皆さんに伝えたいことがありましたら。

◆会員の方というより最近、日本人全体に感じていることがあります。私は昨年11月に中国に行きましたが、とても元気がある。日本も東京オリンピックを開いた1964年当時には熱気や希望があった。今の日本人にもあの時代の燃えるような気迫が必要ではないでしょうか。今こそ、こころの豊かさやゆとりを取り戻していくべきではないかと痛感しています。少々貧乏しても頑張ろうとの気持ちが大切だと思いますね。

◆◆◆――長兄の急死で壱岐に帰って焼酎造りに

――日本人よ、元気を出して、こころにゆとりを取り戻せ、ですね。では、ここらで山内さんの生い立ちを少しお聞きしましょう。

◆親父が酒造場の2代目で、私は三男坊です。当時はどこの家でもそうでしたが、兄弟の何人かは壱岐を出て働くのが普通。兄2人は壱岐に残り、私は壱岐高を卒業して東京の大学を出て社会人として勤めました。代議士秘書もやりサラリーマンも経験しました。ところが昭和58年に壱岐の長兄が急死してしまった。当時私は実家の玄海酒造の焼酎を東京でも販売促進しようと思い、問屋関係などの準備に飛び回っていました。焼酎ブームの時で東京でも焼酎への関心が高く手応えを感じていましたが、そこへ長兄の急死です。

――それで壱岐に帰らざるを得ない、と。

◆長兄の長男が一人前になるまで2年ぐらいはかかるから、それまでの積もりで壱岐に帰ったわけです。ところが、その長男も他界した。それ以来、壱岐で焼酎会社の経営を続けて27年になります。昨年、社長職を次兄の長男に譲り、また私の長男を専務に昇格させ、若い2人で会社の運営を任せることにしました。私は今は会長として外部の仕事に追われています。壱岐や東京、長崎など中心に全国各地を駆け巡る毎日です。社長を退いても却って忙しいほどです。お陰様で当社は今年創業110周年です。

――壱岐に帰られた当時の玄海酒造さんの経営状況はどうでしたか。

◆私が高校を卒業した頃の当社は1、2番の売り上げ規模でした。昭和58年に帰ってみると3番手か4番手ぐらいに低迷し、がっかりしましたよ。壱岐全体の焼酎会社も以前は12社だったのが、今では7社に集約されています。

◆◆◆――東京市場の開拓に取り組み伊勢丹など大手に売り込む

――そこで社長として取り組まれたことは。

◆壱岐で商売しても市場が小さいので、どこかが増えると他が減る。それなら東京の人脈を生かして東京市場を開拓しようと決めました。ところが壱岐の焼酎は味はいいが知名度がない。それで価格は一切値引きしないで品質で勝負しようと。壱岐の麦焼酎は500年近くの歴史があり、麦焼酎発祥の地です。しかも壱岐は遠隔地で神秘的なところがある。その特徴を生かしてラベル、ビンの型、ネーミングなどに独特の工夫をこらして地道に取り組みました。幸い、東京・新宿の伊勢丹に壱岐高の同級生が勤めていたので、彼を通じて伊勢丹に各種のプレゼンを提示し、30種類の中から、芋、麦、米、泡盛、黒糖の各一銘柄が選ばれました。むぎ焼酎では幸運にもわが社の「壱岐」だけが伊勢丹のオリジナル商品に決まったわけです。昭和59年のことで、これをきっかけに酒類卸会社などを通じて東京の三越や高島屋などにも入るようになりました。

◆プロフィール　山内賢明（やまうちけんめい）氏

昭和7年2月長崎県壱岐市郷ノ浦町志原生まれ。昭和26年3月長崎県立壱岐高等学校卒。昭和30年3月明治大学卒、その後、代議士秘書や大成建設関連会社勤務。昭和60年6月玄海酒造株式会社社長。平成18年10月～東京雪州会会長。平成19年5月～長崎県酒造組合会長。平成21年6月～玄海酒造会長。平成22年5月～長崎県人クラブ理事長。
この間、壱岐酒造協同組合理事長、壱岐ロータリークラブ会長など多くの要職を歴任。



文化の道筋は平安時代から壱岐を通っています。特に壱岐は水が豊富にあり、原料の麦も採れる。さらに蒸留技術も秀吉の朝鮮出兵の頃から伝わり、麦焼酎の醸造技術が出来上がったと考えられます。ちなみに「むぎ焼酎発祥の地」という言葉をラベルに表示出来るのは壱岐でも私のところの玄海酒造だけです。

◆◆◆

壱岐は麦焼酎発祥の地５００年の歴史をもつ

――壱岐は麦焼酎発祥の地といわれています。何故、壱岐に根づいたのでしょうか。

◆焼酎というと鹿児島など南から入ったと見られていますが、調べてみるとそうではない。芋は１６００年に中国から沖縄に伝わり、その１００年後に鹿児島に上陸し芋焼酎が出来た。一方、日本の歴史は聖徳太子の時代に仏教文化が朝鮮、対馬、壱岐と伝わりました。大陸

――壱岐の焼酎はＷＴＯ（世界貿易機関）の産地指定を受けていますね。

◆ＷＴＯが平成７年７月１日付で地理的表示の産地として日本では長崎県の壱岐焼酎、熊本県の球磨焼酎、沖縄県の琉球泡盛の３地区が指定されました。この地理的表示の産地指定というのは、酒類の確立した製法や品質、社会的評価を考慮して原産地を指定し、世界的に保護しようとする制度で、大変価値のあるものです。壱岐ではこれを記念して毎年７月１日を「壱岐焼酎の日」と定めて販売促進や試飲会などを開いています。その後、平成17年には薩摩焼酎と清酒の白山が追加指定されています。

――山内さんは壱岐酒造協同組合の理事長も長く務められましたが。

◆壱岐の中で競争してもたかが知れています。しかし蔵元７社が互いに競争しながら品質を高めていく。それに地元の人の味の評価は大事ですし、それを踏まえて壱岐以外に壱岐焼酎の素晴らしさをアピールするように努めてきました。

――壱岐焼酎が他の焼酎と違う特徴は。

◆特徴といえば原料配分です。壱岐焼酎はコメ麹３分の１、大麦３分の２が特徴です。

何故コメ麹を利用しているかといえば、戦前の焼酎は全部がコメ麹でした。芋焼酎も２割はコメ麹です。

◆◆◆

長崎県酒造組合会長として清酒や焼酎を県外拡販

――長崎県酒造組合中央会の需要開発部会長も務めていますね。

◆長崎県酒造組合会長は３年前からです。清酒メーカー５社と焼酎メーカー９社、残りは清酒と焼酎の両方を造っているメーカーで、併せて25社が加盟しています。清酒と焼酎はライバル同士ですが、技術面では協力していこうと…。お互いの交流を深めて公平に県内酒の拡販に努めています。日本酒造組合中央会の本格焼酎・泡盛需要開発部会長も務めています。こちらは国際食品・飲料展（毎年千葉で開催）や全国各地での宣伝。海外へのPRでは中国、韓国、アメリカなどを訪問して焼酎や泡盛の宣伝に力を入れています。ここでの課題は甲類と乙類の混和焼酎と、本格焼酎の差別化を徹底することです。この６月には沖縄でそれを徹底する宣言文を発表したところです。また日本酒造組合中央会の北九州支部の行事として今年は九州の酒造メーカーから７、８０人が７月16日に壱岐に集合して研修会を





今年３月に一支国博物館と長崎県埋蔵文化財センターが開館し観光交流に期待しています

一支国博物館の多目的ホールで開催。これは毎年、長崎、佐賀、福岡の九州北部３県の持ち回りです。

◆◆◆

壱岐は自然景観と文化的歴史遺産の島

――話題をもう一度、壱岐に戻しますが、壱岐の良さを一つ。

◆壱岐の良さは実際に壱岐に来てみないと分かりませんね。壱岐に初めて来た人は皆さん、びっくりします。緑豊かで、古墳など歴史的文化遺産の多さに驚かれます。山と耕地と平地がそれぞれ３分の１ずつで、広葉樹林に恵まれ水も豊富なのどかな島です。今年３月14日には原の辻遺跡群（佐賀県の吉野ヶ里遺跡に匹敵するといわれる）に市立一支国博物館と長崎県埋蔵文化財センターがオープンし、

むぎ焼酎発祥の地

「歴史の島」「伝統の味」



松永安左エ門翁（まつながやすざえもんおう）
720㎖（43度）

2010年度モンド・セレクションにおいて、「壱岐オールド」は3年連続、「松永安左エ門翁」は2年連続で最高金賞（グランド・ゴールドメダル）を受賞しました。



壱岐オールド
720㎖（25度）



壱岐スーパーゴールド22
720㎖（22度）

本格焼酎

◎お酒は20歳になってから。◎お酒は適量を
◎妊娠中・授乳期の飲酒には気をつけましょう

むぎ焼酎 壱岐（いき） 玄海酒造株式会社

代表取締役会長　山内　賢明　　代表取締役社長　山内　昭人　　常務取締役　山内　博達

〒811-5125　長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触550-1　TEL.0920-47-0160　FAX.0920-47-0211

www.mugishochu-iki.com

壱岐麦焼酎

かめ仕込み 山乃守

有限会社山の守酒造場



本格焼酎
720㎖（25度）

◎お酒は20歳になってから。

代表取締役会長　山内　賢明　　代表取締役社長　山内　昭人　　常務取締役　山内　博達

〒811-5125　長崎県壱岐市郷ノ浦町志原西触85　TEL.0920-47-0301　FAX.0920-47-0384

壱岐を始め県下の埋蔵文化財や国内の埋蔵出土品が展示されています。近代的な独特の建物は黒川紀章氏の遺作ですが、金子原二郎前知事の尽力もあり実現したものです。今年5月30日から2泊3日の日程で同博物館の開館を記念して東京雪州会主催のふるさと壱岐ツアーを開催しました。県人クラブから吉田牧男常務理事や小柳哲敬理事ご夫妻、内堀勝之理事を始め東京諫早会の玉木国隆幹事長ら総勢45人が参加（内半数が壱岐島外の出身者）し、好評でした。その際、当社の焼酎工場も見学してもらいました。

◆◆◆

先見性に優れた電力王・松永安左エ門翁の思い出

―― 壱岐出身者の親睦団体・東京雪州会会長でもありますね。

◆ 雪州会は今年で設立93周年で歴史と伝統があります。会員の親睦・交流に大変盛り上がっています。私も就任四年目です。

―― ここで電力の鬼とも言われた松永安左エ門翁についての思い出を。

◆ 私が上京した昭和26年頃には東京雪州会の第2代会長でした。和服姿が多く、頑固な人でしたね。あるとき階段を上がられるのを介添えしようと近づいたら例の長い杖ではたかれましてね。介助される姿など人前で見せたくないわけですよ。毅然としていました。松永翁に杖ではたかれたのは私ぐらいでしょう。後に今里広記さんが松永翁を偲ぶ会でこんな話をされていました―所得倍増政策で有名な池田勇人さんが首相就任の挨拶に松永翁を訪ねた際に「金が無くて何も出来ない…」とぼやくと、翁は「金は自分でつくりだすもの。道路でも何でも造って国を豊かにすることだ！」と諭されたそうです。翁の面目躍如です。





松永翁は池田勇人元首相に「まず国を豊かにしてカネは自分で創り出すもの」と諭されたと

―― 松永翁は電力中央研究所の設立を主導し、自ら産業計画会議を主宰して国家の将来計画を次々と提言されました。

◆ そうです。東京湾横断道路、国鉄民営化、原子力発電の推進などを昭和30年代に相次いで国に提言された。これらの提言はその後、いずれも実現していて。その先見性には恐れ入るばかりです。当社も松永翁の偉業を称えてご親族の了解を得たうえで「松永安左エ門翁」という焼酎を商標登録し、東京湾横断道路アクアラインが開通した平成9年12月18日に東京のホテルオークラに関係者百数十人を招いて発表、記念パーティーを開きました。この焼酎の第一号は松永翁のご仏前に捧げました。

―― 地元の綱引チームの後援にも力を入れていますね。

◆ 壱岐の活性化を目指して〈むぎ焼酎壱岐〉チームを後援しています。地元でのチーム名は〈遠山の金さん〉ですが、全国大会では〈むぎ焼酎壱岐〉です。お陰様で長崎県代表として今年で16年連続で全日本綱引選手権大会に出場しています。県代表として20年連続の全国大会出場が目標です。応援団のほうは毎年焼酎の勢いもあって元気がいいのですが…。毎年、県人クラブや長崎県人会の皆さんにも応援いただいて感謝しております。また、今年はサッカーW杯の南アフリカ大会で日本チームが健闘して決勝リーグに進出しましたね。日本中が大変沸きましたが、わが社では長崎県のサッカーチーム「V・ファーレン長崎」の後援も頼まれて応援しています。

―― 趣味も広いようですね。

◆ 一番好きなのは囲碁です。マージャンと違って隠したりせず堂々と戦える。ゴルフも自分に厳しいスポーツなのでよくやります。20数年前にホールインワンをやりましてね。それが7月7日の七夕の日でしたので、それを記念して今では毎年この日に東京雪州会や焼酎問屋の皆さんとコンペをやっています。今年で13回目です。趣味といえば読書が好きですね。中でも三国志がいい。10代から50代まで5回読みましたが、読む年代で受ける感じが違います。今は別に読むものが多くて読んでいませんがね。

そのほか盆栽も好きですね。植木の一番の魅力は「切る」ということ。これは勇気がいります。年季をかけて仕上げる楽しみがあります。

◆◆◆

焼酎は「全天候型」で何時でも何処でも飲める

―― 山内さんの酒豪ぶりは有名です。いろんな集まりの後、二次会、三次会は欠かさず付き合われます。そして全国を飛び回る。健康の秘訣を一つ。

◆ 声が大きいことです。言う時ははっきり言い、人の陰口は言わないこと。基本は焼酎です。皆さんと焼酎を楽しく飲むこと、それが一つの健康法ですかね。ただ最近は飲み過ぎを反省はしていますが…。つい誘われると、また…

―― 焼酎の旨い飲み方のコツを。

◆ 焼酎は「全天候型」の飲み物です。どんな状況でも飲めます。お湯割り、水割り、オンザロック、ストレート等など。何時でも何処でも飲めます。体調の悪いときは薄めて飲む。体調がいいときは少し濃い目に。体調やおかずに合わせて飲む。人それぞれです。私は当然、全天候型ですよ。

―― 長時間、興味深いお話、有り難うございました。今度はクラブでの焼酎談義を楽しみにしています。（了）

講演会

「イチロー、松井のバットをつくる名人」

『講演日：平成22年3月23日』

講師　松瀬　学　氏

こんばんは。ノンフィクションライターの松瀬です。よろしくお願いします。

私は、ちょうど50年前、佐世保で生まれました。今は浦安に住んでいます。先日、浦安の駅前のスーパーで買物をしたんです。そこで薩摩揚げを、太ったおばちゃんがいて、「天ぷら頂戴」と言ったんです。そうしたら、おばちゃんがうれしそうな顔をして「あんた、長崎の人だ」と言って。「天ぷら」と言うのは長崎だけですかね。だから、僕も長崎生まれだなと思いました。

盛り上がったのは、スノーボードの國母選手

皆さんもバンクーバーオリンピックごらんになったと思いますけど、何が一番印象に残っていますかね。

浅田真央ちゃんね。金メダルとか、いろいろいましたけど、ただ、新聞記者仲間と話をしたら、盛り上がったのは、スノーボードの國母選手。ご存知ですか。ああいうのをどう思いますか。メディアが騒いだおかげで、彼は一躍有名になりました。バンクーバーオリンピックが始まるときに、僕の母は今諫早に住んでいますけど、82歳。電話で「このクニハハ（國母）というのはいかんねぇ」と言うんです。何のことかわけがわかりませんでした。國母のことですよ。あれ國母（こくぼ）ときっちり読める人はそんなにいなかったと思いますよ。でも、今回大騒ぎしたおかげで、みんな國母（こくぼ）とちゃんと読むようになりましたね。

ただ、今回は、オリンピックはやっぱり特別で、行くときにあの格好はダメだとかね。オリンピックはメディアが大騒ぎした。彼にアンラッキーはテレビに映ってしまいましたね。普通、あの格好ですから、べつに何ということはないんですけどね。ただ、テレビに映ってしまったら、テレビを見た視聴者の方から文句がスキー連盟、日本オリンピック委員会に殺到しましたね。それで、日本オリンピック委員会が困って、バンクーバーで謝罪会見。あのとき、よせばいいのに、「チッ、うっせーな」と。実は、現場にいた記者には、あの言葉は聴こえていないんですよ。ただ、テレビで流れた。こちらの日本の視聴者の方がまた怒った。何という生意気だと言う。袋たたきですよ。気の毒だったのが笠谷幸生さん。札幌オリンピックの金メダリスト。あの方が副選手団長です。あの方はバンクーバーで謝ってばっかりだったそうです。日本でも、ずっと謝り続けています。「申しわけない」と言って。もう気の毒で、気の毒で。まあ、それくらいみんなに迷惑をかけています。

日本のメディアは怖いです。あの怖さは独特ですね。いいときはみんなでワーッと持ち上げますね。何か悪くなると、みんなで叩き落としますね。日本のスポーツ新聞、週刊誌、ああいう國母のひどい写真ばかり載せますので、ダーティ・イメージがさらにふくらんで、それで、彼はもう悪者ですよね。有名になりましたけど。僕は30年いましたけど、テレビは気をつけないといけない。ときどき出ていますけど、そういうふうに思います。

日本人の誇り

バット名人の久保田五十一さん。ここで話をするために、急遽仕事をつくって、僕は岐阜県養老郡に会いに行ってきました。古い話もありますが、そうすると、僕の正義が許さないですね。会いに行った。そこで話題になったのは、やっぱり國母ですよ。オリンピックが終わった後で。久保田さんは4月6日で67歳になられますけど、國母をものすごく怒っていましたね。「ああいうのは日本の代表として出すべきではない。勝ち負けよりもっと大事なものがある」とおっしゃっていました。

「勝ち負けよりももっと大事なもの」って何ですか。僕は「誇り」だと思います。日本人の誇り、覚悟ですね。日本のトップ選手、イチロー、松井秀喜です。みんな日本人の誇りをものすごく強く持っています。職人も持っている。久保田さんもお持ちです。誇りがないと世界で戦えないですね。日本人という強い意識がある。國母は表現方法がちょっと違う。

ここで久保田さんの紹介というか、僕が好きな、非常に尊敬している方ですね。何度か取材させていただいて、非常に謙虚な方です。きょうのテーマでは、皆さんはイチローとか松井選手の話のほうがお聴きになりたいかもしれませんけれども、ぜひ、久保田五十一さんの話をきょうはさせていただきたいのです。

バットつくりの名人、久保田五十一さん

五十一と書いて「いそかず」と読みます。51歳じゃないです。イチローの背番号が「51」なんです。「それに合わせて名前を変えたのか」とよく言われるらしいですけど、父親が51歳のときに生まれたので、「五十一」と書いて「いそかず」という名前がついたのです。山本五十六と一緒ですね。あの人は56歳のときに生まれた子どもなので「五十六」。でも、やっぱりイチローの背番号と同じ名前でイチローのバットを削っているというので、本人も、これは偶然だけど、非常に巡り合わせを感じているというふうにおっしゃいますね。15歳でミズノに入って、ずうっとバット一筋ですね。久保田五十一さん、52年間ずっとバットを削り続けておられます。非常に謙虚な方です。この方に僕は会いに2月22日、岐阜県養老郡養老町というところがありますが、これは新幹線に乗って岐阜羽島駅で降りて、そこから車で20～30分かけて行きますが、僕はまず久保田さんに会いに行くときは、夜に行って、駅前のホテルに泊まります。翌朝5時に起きて行きます。久保田さんの朝の散歩におつきあいするためです。

職人もコンディションが大事

久保田さんは毎朝5時前に起きます。まず腹筋、背筋、そして、スクワットをされます。腹筋何回ぐらいされると思いますか。（51回）（笑）。センスありますね。それ、

おもしろいな。２００回ですよ。頭を下げて、スポーツ選手みたいな動きで腹筋を２００回。僕、一回お腹を触って見ました。硬いですよ。次に、背筋を２００回。スクワットは１００回ぐらいされます。なぜそんなにするかというと、選手と同じです。職人もコンディションが非常に大事。体調がよくないといいものはつくれない。ものすごくまじめです。怖くなるぐらい。

その後、近くの山を散歩します。愛犬のマロンという犬と一緒に、「象鼻山」という山がありますけど、そこで散歩というか、山歩きですね。すごく速いです。山は結構険しいです。めっちゃ速い。僕は必死で追いかけますが、すぐ遅れて、名人に待っていただいていると僕は追う。このとき、３回ぐらいこけましたね。１時間～１時間半ぐらいずっと歩きます。雨が降っても雪が降っても、そこを歩かれますね。

そうしていると、２月ですけれども、春の感じがあります。その中をときどき木に触りながら……。僕には何を言っているかはわかりません。木と毎日話をしている。久保田さんは非常に若い。なぜかというと、いい仕事をするためには、健康が一番。自然と一緒に対話しないといけない。その瞬間を大事にする。おっしゃるのは、自分の人生の中で、今が一番新しい。それを大事にしなければならない。12時間後、24時間後、これを充実した時間にしようと思ったら、今を大事にしないといけないとおっしゃいます。

仕事では、謙虚さに勝るものはない

春は、野球が好きな方はワクワクしますね。今年はどこが強いだろうか。巨人が強いのか。僕は巨人を好きじゃありません。大のアンチ巨人です。春はウキウキします。ワクワクします。名人に聞きました、「春というのは、名人はどうでしょう」と聞きますと、そうしたら、「春は不安だ」とおっしゃられます。何が不安か。名人はイチローさんだって10年連続２００本安打がスタートする前は「楽しいですか」と聞かれて、「そういうことはないのではないですか」と。それと一緒で、緊張して、不安なのです。なぜ不安かというと、自分が毎年つくるバットは、そのものさしが、選手のものさしとギャップがあるのではないか。今年は大丈夫かな。そういう心配ですね。だから不安。非常に謙虚です。それだけ仕事に対しては謙虚なのですね。最も大事にしている言葉が「仕事では、謙虚さに勝るものはない」と。これは名人の肝に銘じている言葉です。謙虚しかない。

これを肝に銘じるきっかけが、名人に１つの出来事があったんですけど、それが１９８０年、ちょうど30年前です。久保田さんが37歳のとき。谷沢と出会ったんですね。谷沢健一という選手。中日のいいバッターでしたね。谷沢と会ったのが30年前です。谷沢がミズノとアドバイザリー・スタッフ契約を結びました。契約を結ぶと、ミズノの道具を無料で提供するんですね。バット、グラブなど。このとき、バットは久保田さんが削ったバットです。ミズノで一番いいバットを削るのは久保田さんなので、久保田さんが37歳だから、大体慣れてくるころです。少しおごりはないですけど、余裕を持っていたときに削って谷沢に渡していたら、試合では谷沢は久保田さんのバットは全く使ってくれませんでした。ほかの会社のバットを使い続けました。困ったミズノの選手担当のスタッフが久保田さんのところに電話を入れて、どうして使わないのか直接谷沢に久保田さんが聞いてほしいと。

久保田さんは名古屋球場へ行って、試合前の練習で、谷沢に挨拶に行って「私がバットを削らせていただいております久保田と言いますが、納めているバットのぐあいはいかがですか」谷沢は「いいよ」と言った。一言しか言ってくれなかったそうです。試合前だから、これ以上久保田さんは話しかけることができなかったんです。バックネット裏の席が空いていたので、そこに座って試合を見ていた。ひょっとしたら谷沢さんは職人の自分がここにいることを知っているんで、試合で使ってくれるんじゃないかと、そういう期待を持って座っていました。打席が近づいてきます。谷沢がベンチから出て、ネクストバッターサークルに入って、久保田さんが削ったバットとほかの会社のバットを２本持って、座って、ウォーミングアップですね、感触を確かめている。その後、久保田さんのバットは置いて、ほかの会社のバットを持って打席に行ったんです。それを見て、久保田さんは「ああ、ダメか」と。２打席目、今度は大丈夫かなと思ったら、次も同じ。やっぱり久保田さんのバットをポンと置いて、ほかの会社のバットを持って打席に立った。どうしてだろう、久保田さんは悩みます。３打席目、これもなし。どうしてかわからない。４打席目、じいっと谷沢を観察するんですね。ベンチから出て、ネクストバッターサークルに入る選手のオーラというか、ものすごい気迫、それが体全体から出てくる。

それで、バットを持つ。久保田さんが削ったバットとほかの会社のバット。これもすごい気迫ですね。打席に向かうとき、やっぱり久保田さんのバットを置いていった。見ていると、凄まじい集中力を持っている。ピッチャーに向かう。それを見ていて、久保田さんは恥ずかしくなった。ああ、プロ野球の選手というのは、１打席、１打席、こんなに集中してピッチャーと立ち向かうのか。自分は本当に集中して一本一本つくっていたのかと反省するんです。恥ずかしくなった。もっともっと謙虚にならなければいけない。おごりがあったのではないかと思って、もう谷沢とは会わずに、養老郡のバット工場に帰りました。

そして、一生懸命バットを削るんです。体調のバイオリズムというんですか、波がありまして、それを研究されて、一番自分の調子がいいのは、１週間の中で水曜日だとわかって、その日に谷沢のバットを削る。材料も機械も、一番いい部分を谷沢のバットのために、いろいろ削って送ったんです



けど、やっぱりそのシーズン、谷沢は久保田さんの削ったバットは使いませんでした。

困って、久保田さんは、谷沢が使っているほかの会社のバットを取り寄せて、そして、研究するんですね。もう恥を捨てて、真剣に研究する。そうすると、バランスがちょっと違ったらしいです。見てくれとか、全体の重さとか、そういうことばかり気にしていたので、バランスがちょっと違う。ヘッドのほうがちょっと重くなり過ぎている。それで、久保田さんはハッとした。「バランスだ」と思って、それで削った。オフに谷沢が養老のバット工場に来たときに、そのバットを渡したら、初めて谷沢が少し笑って「これは使えるかも」と言ってくれたらしいです。谷沢は次のシーズンから、久保田さんの削ったバットを使い始めて、ヒットを打ち続けるんです。

5年後、1985年2000本安打を達成します。シーズンオフに「2000本安打祝賀パーティ」を名古屋で開くんですね。その招待状が久保田さんのところにも来ました。最後に、谷沢の字で「いいバットをありがとうございます」と書いてあったんです。名人はそれを見たときに、うれしくて涙が止まらない。そのとき改めて思ったのは、仕事では謙虚さに勝るものはないということですね。

職人は、ものづくりというのは、道具がすべてだ

バット工場の中に「バット工房」というのがあるんですけど、これは久保田さんの専用の作業場です。結構大きなスペースが久保田さん専用。そこには、落合博満、原辰徳、山本浩二とか、そうそうたる選手のバットが飾ってあります。奥のほうに、作業台が置いてあります。ろくろが付いています。その前にかんなが5丁、のみが7丁。刃がきれいですね。名人いわく「職人は、ものづくりというのは、道具がすべてだ」と。道具を見れば、その職人の腕がわかる。まず道具から始まる。名人は必ず一日の終わりには、その道具の刃を点検します。朝も点検する。それでよければ仕事を始めるんですけれども、かんなの刃とかは、光ればいいというものではないらしいんですね。ほどよい切れ味でないとだめです。切れ過ぎてもだめ、切れなくてももちろんだめだそうです。ほどよい切れ味はどうして出るんですか。名人が言うには、真心をこめて磨けば、ほどよい切れ味が出る刃になる。名人には仕事があった。「ちょっと話より、先に削らせてください」と言って、削ります。にこやかな顔をされていたのが、この作業台の前に立つと、目が変わったんです。ものすごく怖いです。すごい集中力です。空気が一変しますね。話しかけることはできません。携帯でも鳴ったら殺されるような、そんな雰囲気の空気になりました。そして、削り始める。角材をろくろにつけて、見本のサンプルのバットを目の前に置くんです。そこで、ノギス、金属製のものさしを当てて、サイズを測って、のみを当ててまわっていく。ギューッと……。木屑がワーッとできますね。木の香りがフワ～ッと広がって、のみを替えてどんどんいきます。まず、グリップから行きますね。グリップからずっと流して削っていくんですけれども、これにもストーリーがあるそうです。途中で、カメラマンが変なシャッターを押したとか、変なことをやると、もう一回最初から違う角材で一からやり直しです。始めたら、最後まで削らないといいものは削れない。最後は、サンドペーパーでスーッとやる。でき上がる。名人はそれをパッと取って、手の感触を確かめて「ハイ、どうぞ」って僕触らせてもらったんだけど、何か熱気を持っていて、人肌というか、いい感じでフワ～ッとしています。陶磁器みたいにツルツルするんですね。きれいなバットです。

苦痛の半世紀

名人はこの仕事を毎日50本とか100本とか、何百本とバットを削ってきているんですね。「どんな半世紀でしたか」と名人に聞いたんです。何と言ったと思われますか。苦痛の半世紀。もうつらくてたまらなかった。プロ野球選手と一緒ですね。つらい。「松瀬さんはどうですか」と名人に聞かれましたね。僕は正直に答えました。「仕事は人づきあい。ものすごく楽しい」と。僕は8年前に共同通信を辞めましたけれども、それからフリーで仕事をしています。貧乏だけど、仕事を自分で選べるんですね。だから楽しい。名人は僕の顔を見て「変わっていらっしゃいますね」と言ったんです。だから、それだけレベルが高いんですね。喜びは、選手がそのバットを評価してくれたときと、記録をつくってくれたとき、このときだけ少しうれしい。あとはずうっと苦痛だ。だから、一日も早くこの工場から足を洗いたい。ミズノは辞めさせてくれないんですね。ものすごい名人だから。今、後継者に技を伝えています。「もう、私は峠を完全に降りています」と。体力とか技術とかいろいろなものがかみ合って、いいときは35歳からの15年間、それが私のピークでしたと。私は今ずっと降りてきている。それは自分で自覚できる。それを出さないように、いろいろな形でカバーされている。だから、早く次の人間に継がないといけない。ピークのときは自信を持ってバットを削れる。自信を持って選手にアドバイスができるそうです。

ラッキーだった松井とイチローとの出会い

ラッキーだったのは、最後のときに、松井とイチローに出会うんですね。1992年です。松井は高校3年生、星稜高校ですね。巨人ドラフト1位に指名されたときに、岐阜県養老のバット工場に監督と一緒にやって来るんです。ものすごい存在感があったそうです。堂々と話をして、バットの感触の話とか言ったらしいんですね。そのとき、名人は2本のバットを松井に渡しました。「じゃ、この2本のどちらかを使ってください」その2本のバットが、85センチ。練習用で使っている竹バットと同じサイズの長さが85センチ、そのバットが86・5センチ、ちょっと長いです。この2本のバットを松井に渡して、名人は松井にこう言いました。「すぐバットを変えたがる選手がいますけど、できたら、1年間は同じバットを使い続けてください」松井は人間がいいから聞くんですね。いい・悪いというのは、1年ぐらい使わないとわからない。松井は1年間使って、「プロ第1号モデル」というのを決めます。それが86・5センチのバットです。松井の第1号モデルです。松井は、その後、毎年のよう



に少しずつ変えていきます。形状とか、重さとか、長さを変えていく。これはイチローとは全然違いますね。イチローは18年間全く同じバットです。でも、松井は変えていく、名人がアドバイスするんですね。「変えるなら、違和感のないように少しずつ変えていったほうがいいですよ」と。そうしたら松井がまた少しずつ変えていく。アオダモの86・5センチ。北海道で採れる材木のアオダモ。重さが920〜930g。これが松井のプロ第1号モデル。その後、少しずつ毎年変わっていきます。松井の最初のは「ビールびん型」と言って少しキュッと絞っているバットです。これが松井は細くしたいということで、二等辺三角形型と言うんですが、V字型バット、それに少しずつ変えていくんですね。プロに入って6年目、98年。このモデルが、長さが長くなって89センチ。バットの芯は、一番太いところは、ヘッドから10センチのところです。10〜30センチの20センチが大体芯なんですね。拳分ぐらい。一番太いところは63ミリ。この年、松井は34本のホームランを打つんですね。セリーグのホームラン王に初めてなった。記念する年です。松井は人間がいいから、その記念のバットを大事にとって、自分のサインをして、これを養老のバット工場にシーズンオフに持って来るんですね。そのシーズンは日米野球があったんですけれども、折れちゃまずいというので、日米野球、松井は使いませんでした。バットケースに入れて大事にしていた。98年10月3日これを養老工場の久保田さんに「これ記念です」と言って渡したんです。

名人の久保田さんが、98年の記念のバットをもらって、今どこに置いているか。どこにあると思いますか。これは松井博物館に絶対置くべきバットなんですよ。初のホームラン王のときのバット。久保田さんの自宅の押入れの中ですよ。僕、家に行ったとき「ちょっと見せてくださいよ」と頼んだら、見せてくれないんです。松井さんからじきじきにもらったバット、そんな大事なものを人に自慢するようなものではないと。松井が松井なら、名人も名人なんですね。そういう頑固といいますか、風変わりで昔気質というところがあります。

木の癖は、山の環境に影響される

松井のバットで一番問題というか、一番困ったのが、2003年、松井が大リーグに行った年です。この年、北米で採れる材木の材質をアオダモからホワイトアッシュに変えました。ホワイトアッシュは折れやすいんですね。違う材質にしてくれとミズノに注文を出して、久保田さんは、違う材質だということで、北米にもっと強い材質、メープルがあるんですね。バットになる材木は、北米ではホワイトアッシュとメープルだった。いろいろややこしい適性があるんですけど、そこまでは僕は説明できる知識はちょっとありません。「これを使ってくれ。いいのがあった」とミズノから連絡が来たとき、久保田さんはその生育現場を見に行くんですね。久保田さんというのは、材木を使うときには、その材木が生えているところを見ないと使わない。木の癖は、山の環境に影響されるとおっしゃる。山の土の質・日当たり・雨・雪・気温・風、こういうのを自分で感じないと、いいバットは削れない。そういう方です。

わざわざカナダのトロントまで行くんですね。メープルの生育現場に久保田さんはミズノのスタッフと一緒に行きます。松井さんのバットになるんだから、自分で体験しなければいけないというので、山の中を歩くんです。そうすると、名人いわく「光り輝く若い木がバーッとあった」らしいんです。竹取物語のようですけど、いい木はやっぱり光るそうです。この木は重さが合えば松井さんのバットになる。

「木を見ていませんけど、いい木ってどんな木ですか」と聞くと。女性で言えば、美人です。オードリー・ヘップバーンみたいな、夏目雅子と言いましたけど、カチッとした美人。そこで耳をあてています。やっぱり音が聴こえるらしいんです。水が湧き出るような、そして、血が流れるような、そういう自然の音がするそうです。聴こえる人間には聴こえると言いますね。松井に久保田さんは電話を入れます。松井も喜んだ。その喜んでいる声を聞いて久保田さんも喜んだ。

その後もバットをつくり続けて、今年のバットは、松井は87センチ、重さが890〜920gです。芯、一番太いところの直径が64ミリです。去年と比べて違うところは、テーパーというか手のグリップのところが少し太くなっています。右手の下から2番目、薬指のところがちょっと太くなっている。そこで、今年、再起をかけるわけですね。去年も活躍しましたけれども、去年のホームランは28本。本人は不満ですよね。今年はそれで30本台をねらう。今年の1月、松井と一緒に飯を食ったときに、松井は自信を持っていたそうです。「今年は行けますよ」と。松井は30本は行けるんじゃないかと言ったらしいんですけど、名人自信を持って「今年は40本行くんじゃないでしょうか」と言っていました。どうなんでしょうね。40本。

イチロー、不変のバット

今度はイチロー。かっこいいですよね。イチローは日本の誇りです。久保田さんがイチローと会ったのも1922年です。松井と前後して会っています。イチローのプロ1年目のオフに、養老のバット工場にイチローがやって来ました。イチローが1年目、巨人に篠塚がいましたけれども、そのモデルのバットを使っていたんですね。非常に細くて、バットコントロールが難しい。イチローはバットコントロールがうまかったそうです。久保田さんに「ヘッドを少し軽くしてほしい」というふうに注文を出して、久保田さんはそれを聞いて、芯の幅を0・5ミリ削って60・5ミリにしました。非常に細い。一番太いところが60・5ミリ。本当に細いですね。これでイチローはヒットを打ち続けています。



イチローのバットは、特に素材勝負です

イチローはそのときから18年間ずっと同じです。長さが85センチ、重さが880~900グラム、芯が60・5ミリ、アオダモです。イチローは頑固だから、大リーグへ行っても、アオダモから変えないと言い張っています。バットを削る立場からすると、変わらないというのはやりやすいんですね、同じバットをつくればいいんだから。ただ、天然のものだから、厳密に言えば同じものが二つとありません。だから、素材が勝負なんですね。まず、角材選びがポイントです。どうやって選ぶかというと、見て、音を聴きます。バット工場に行くと、あちらこちらでコンコン音がしているんです。音を聴いて、高い音に反発力がある。遠くに飛ぶらしいんです。耳で判断する。イチローのバットに耐え得る角材は1000本のうちの1ダース。それくらいしかないんです。

松井はドレミの「ミ」で、イチローは「ファ」

イチローと松井のバットは、これは削った後は、いろいろ音が変わります。でも、名人に話したんですよね。「どんな音ですか」比較していただいたんです。音で言ったら、松井はドレミの「ミ」で、イチローは「ファ」だと言うんですね。松井はピアノの音。イチローのはバイオリン、高い音でスーッと消えていく。見た目、イチローのバットはシャープです。松井のバットは、体型と同じで、ちょっと太い感じです。握りは、一番短いところが松井のほうがちょっと小さいんです。23・5ミリ。イチローは24ミリ。だから、しなりはどうなるかというと、イチローは柳のようにしなるらしいんです。松井は、手元はしなるんですけれども、ヘッドはそのまま変わらずに。

こういう話をすると、名人はときどき落ち込んでいるときがあるんですね。「どうされたんですか」と言ったら、いいバットになる材木、そういう話は非常に木に対して失礼だ。いいバットになるならない、いい角材・悪い角材、これは人間の勝手ですからね。こっちは一生懸命それぞれ立っている。それを勝手に切ってきて、どれがいい・悪いと私は選んでいますけど、これというのは、実は木に対しては失礼なんです。そういうことをおっしゃいます。じゃ、切らなければいいじゃないかと凡人は思うんですけど、そうしたらプロ野球は成り立たない。でも、私はいつも木に対して申しわけないと思うと。そういう考えですね。

材木、自然環境はやっぱり悪くなっています。どんどん減っていますね。バットにはアオダモという北海道産が適しているんですけれども、それが今、ミズノに入ったのが去年7000~8000本です。これは、10年前のピークのときの10分の1だそうです。大幅に減っている。イチローは、バットのクオリティーは落ちながらも、同じ成績を出している選手です。それだけイチローは偉いのかな。頑張っているんですね。今年10年連続200本安打を打ち、名人の願い。これが見ることができれば、あとはもう思い残すことはないと言うんですね。いつ死んでもいいと言うんです。

丁寧さを大事に

今、後継者にバットづくりの技術とかいろいろなものを教えています。一番うるさいのは、やっぱり道具ですね。道具が悪いと名人は怒りますね。とにかく道具をちゃんとしろと。道具にその職人の姿勢が出ると。「一番伝えたいものは何ですか」これはたぶん職人というのは、普通の組織も一緒だと思いますが、仕事に向かったときの「丁寧さ」とおっしゃいました。

久保田さんのサインです。「久保田さん、ここに何か言葉を書いてください」。そうすると、「言葉ですか」と書かれたのが「真心」です。達筆です。職人の真心です。何でもやっぱり心ですね。そう思いました。久保田名人は真心でバットを削った。真心を大事にしていきたいと思います。

ありがとうございました。(拍手)

(写真:宅島正二)

◆プロフィール **松瀬(まつせ) 学氏(まなぶ)**

1960年長崎県生まれ。83年早稲田大学卒業後、共同通信社に入社。運動部記者として、プロ野球、サッカー、大相撲、オリンピックなどの取材を担当。96年から4年間はニューヨーク支局に勤務。1988年ソウル五輪から92年バルセロナ、96年アトランタ、2000年シドニー、04年アテネ、08年北京の各夏季五輪ほか、サッカー、ラグビーのワールドカップ(W杯)など多数の国際大会を取材。02年、共同通信社を退社、ノンフィクションライターに転進する。著書多数。09年4月からBS日テレ『BSスポーツ LIVE&LIVE』のMC(司会者)も務めている。

金型用部品・パンチ・ピン
株式会社 スガモ技研
代表取締役 福田邦昭(平戸市大川原町出身)
〒341-0012 埼玉県三郷市半田1028-4
電 話 0489(57)4111(代)
FAX 0489(57)4123
営業品目
冷間鍛造パンチピン
モールド型用コアーピン
プレス型用パンチピン
プリント基板金型用パンチピン
その他

かいしゃ訪問

「㈱スガモ技研」

金型関連用工具の生産で特異技術
創業以来27年連続黒字の堅実経営

スガモ技研は堅実経営の見本のような会社です。自動車や弱電業界向けの金型用部品・パンチ・ピンなど金型関連用工具を生産していますが、昭和57年の創業以来赤字を出さない小粒でピリッと辛い「超優良企業」です。埼玉県三郷市の本社工場に福田邦昭社長を訪ね、堅実経営の極意を聞きました。



福田社長

福田社長は長崎県平戸市の出身です。平戸高校を卒業後、上京して日本大学を卒業。会社勤めの後、39歳のとき思い切って独立し、東京都板橋区に金型関連部品の工場をスタート。当時から豊島区巣鴨に住んでいた関係で、その土地の名を冠して「スガモ技研」にしたのが、社名の由来だそうです。

創業に当たっては資金調達が課題。国民金融公庫から借り入れるにも保証人が必要で、そのとき協力して支えてくれたのが郷土平戸の同輩だったという。「これも郷土のつながりの有り難さ。しかし、この創業当時が一番苦労しました」と福田さん、起業の難しさを改めて感慨深く回想します。

業容拡大に伴い板橋が手狭となり、平成2年に現在の三郷市に移転し今年で20年になる。さらに今年2月には隣接地に新たに本社工場と建屋を新築し、旋盤や研磨機など主要設備も更新。能力的には従来の50％増になるという。同社製品の70％が自動車関連向け、残りは弱電関連で、輸出も5％。「工場の海外進出は考えない」ときっぱり。

福田さんは品質管理について「目に見える品質測定と目に見えない品質測定があるが、焼入れ硬度など目に見えない品質測定こそが重要で、当社はそのノウハウを確立している」と品質には自信をもつ。ユーザーには「目先の利益にこだわらず百年千年先を見て対応してもらいたい」と注文。

さて同社の堅実経営の根源に迫ると―第一に身の丈にあった設備や人員を心がけ、見掛けの大きさより中身の大事さに留意する。次に自分はお金には絶対手をつけず女房（3年前に他界）任せにしてきたこと（現在は長女に）。第三に製造現場は職人集団なので社員にはコツコツ休まず仕事をしてもらうこと、と福田社長の答えは明快です。

社員の採用に当たっては「何か一つでも誰にも負けないものを持っているかどうかが基準」と、職人のこだわりも。

しかも同社は平成7、8年頃から保証協会の特別枠を利用して手形を回収し、全て現金決済にしている点も大きい。また社員には皆勤賞を設け月間4万円を支給しています。

7月には埼玉県が設けている「彩の国　優良企業」の今年度の認定を受けるなど経営姿勢が評価され、三郷市ではモデル工場として期待されています。

福田社長の誠実な人柄が経営理念に明確に示されていることを実感したことでした。故郷に対する思いも強く、故郷の後輩には「何か一つ誰にも負けない誇れるものを身につけて欲しい」と期待しています。

（文：牧山康敏、写真：宅島正二）





【事業内容】　プレス金型用工具、プラスチック金型用工具など金型関連用工具の製造販売
【本　　社】　埼玉県三郷市半田１０２８の４　☎0489（57）4111（代）
【従 業 員】　20人

～～～長崎関連イベント予告～～～

奥土居　美可（ジャズボーカリスト）　ホットアーティスト



ジャズボーカリストの奥土居美可（佐世保出身）さんが昨年末、ナット・キング・コールのナンバーを集めてリリースしたニューアルバム「トゥー・ヤング」が注目を集めている。「天使の歌声」とも評される味わい深い歌声である。地方密着の町興しにも積極的で、６月も長崎でコンサート。ライブも多忙である。六本木「スイートベイジル」で７月27日（火）18時30分開場、19時30分開演のライブ。８月16日（月）18時30分から長崎市旧香港上海銀行でライブ。

名　称	代表者	日　時	場　所	連絡先	
うまか市	長崎県東京事務所	22.10.16㊏AM10:00～PM2:00	四谷	県事務所	03-5212-9176
長崎東高校在京同窓会	下田　浩六	22.10.2㊏PM3:00～6:00	八重洲富士屋ホテル	下田浩六	03-3208-7691
長崎西高校在京同窓会	村田　輝夫	22.10.23㊏PM3:00～5:00	椿山荘	—	—
長崎北高在京同窓会	中村　成治	22.11.6㊏PM2:30～5:00	ハワイアンダイニング　ティキティキ新宿店	武富和宏	090-3498-1747
長崎工業高校在京同窓会	松尾　　剛	22.11.13㊏PM2:00～5:00	笹川記念会館	山口和孝	03-5272-1268
在京長崎県下高校同窓会	山内　賢明	22.11.26㊎PM6:30～8:30	笹川記念会館	長崎県人クラブ	03-5366-4888
島原南高校同窓会関東支部	児島　新衛	23.2.19㊏AM11:30～PM2:30	スクワール麹町	事務局 渡邊武志	03-3474-3191
大村高校東京同窓会	福田　俊男	22.10.16㊏PM4:00～6:30	笹川記念会館	篭原勇三	090-4381-7058
東京雪州会総会	山内　賢明	22.10.31㊐PM0:00～	東京プリンス	牧山康敏	042-486-4706
東京・平戸北松会	大石　睦彦	22.10.30㊏PM1:00～	グランドプリンスホテル赤坂	久保田辰輔	090-4133-2756
関東西海市人会	早瀬川　昌	22.12.11㊏	中野サンプラザ	永田昌利	03-5272-9303

www.guenbs.com


ふるさと遠めがね

開館1周年！長崎市亀山社中記念館

長崎市東京事務所長
神近　宣博

幕末の風雲児・坂本龍馬がわが国最初の貿易商社といわれる「亀山社中」を慶応元年（1865）長崎伊良林の地に創設して今年で145年。平成21年8月1日に「長崎市亀山社中記念館」として一般公開を始めてから丸1年になりました。開館以来、全国各地から多くの龍馬ファンが訪れ、週末には〝入館待ち〟の列に驚きます。

亀山社中は、龍馬らが属していた神戸海軍操練所が幕府の圧力により解散に追い込まれたため、薩摩藩が彼らを保護して長崎に本拠地を構えさせたもので、薩長両藩の物資の調達や運搬が大きな目的でした。しかし、地元の人々は、社中の隊士らを「亀山の白袴」と呼び、余所から来たごろつきが何をやらかすのかと常にヒヤヒヤ状態だったようです。龍馬らが近所の人々から煙たがられていたなんて想像できませんね。

亀山社中跡に整備された亀山社中記念館は、龍馬が活動した当時の建物にできるだけ近い形で復元。龍馬がもたれかかり座っていたとされる柱も忠実に再現しました。館内には、紋服、ピストル、ブーツ、長刀（陸奥守吉行）、龍馬の書簡、海援隊日史などの品々も多く展示され、お龍さんが好んだ月琴も体験することができます。往時の雰囲気を存分に味わうことができるでしょう。





また、同記念館のそばにはブロンズ製の体験型モニュメント「龍馬のぶーつ像」があります。実際にぶーつに足を入れることができ、手元の舵輪に手をかけ、長崎港を見渡せば、気分はまさに世界の海援隊を夢見る龍馬！風頭公園の坂本龍馬之像から亀山社中記念館までの界隈は、今や長崎を代表する観光名所となりました。

◇

大河ドラマ「龍馬伝」も第3部がスタートしました。5月末に実施された長崎ロケ（崇福寺、グラバー園、大浦天主堂など）がどのように放送されるのか楽しみです。主演の福山雅治さん、岩崎弥太郎役の香川照之さん、龍馬伝に関わる全ての皆さん、長崎に元気を与えていただき、本当にありがとうございます！クランクアウトまで頑張ってください！

「400年前、ここは外人さんがいっぱいでした。その人たちのために牛を飼って肉を提供していました。」

「それじゃ神戸の港が開かれたのは幕末だから神戸牛より平戸の方が遥か昔だ。多分日本で一番早かったんじゃないのかな。これは驚いた‼」

◇

平戸には当時、上記各国の船が出入りし、千里が浜の一帯には各国の倉庫が並んでいた。多くの船員たちが町中を歩き回り、丸山の遊女たちがマドロスさんをもてなしていた。この丸山がそのまま長崎へ移り、天下に名をとどろかすことになる。今の静寂な平戸の風景からは全く想像できない。

さて、肉屋さんとの問答は終わった。しかしこの話、ガイドさんから聞いたのではなく市井の肉屋さんから聞いた、というところが面白い。江戸時代、西洋の風が、長崎・出島の前に平戸に吹いていたことを多くの人は忘れてしまっている。どうやら平戸の人も気がつかないらしい。のんびりしているのは長崎県人の特徴である。ああ勿体ない。

平戸牛

本川　真澄（佐世保市）

この原稿を書いているとき、毎日、宮崎牛の口蹄病のことが報道されていた。宮崎はおろか係累の近江牛や松坂牛など全国的に波紋が広がっているという。

ところで皆さんは平戸牛なるものをご存じだろうか。恥ずかしながら、つい最近まで私は知らなかった。

平成22年4月末、佐世保で中学同窓会があり、その後、折角だから平戸へ行こうという話になって友人3人と出かけた。平戸は風光明媚、かつ魚がうまい。それだけじゃなく多様な歴史に彩られている。400年前にはオランダ、ポルトガル、イギリスとの貿易港として栄え、また国姓爺合戦の鄭成功はここで生まれた。古く奈良時代には遣唐使船がこの近くを往来し、弘法大師・空海の大きな像が島の北端で中国をにらんでいる。近世の隠れキリシタンの部落も現存しているし、誠に国際色豊かな土地である。ヒラドツツジが鮮やかだった。

◇

ところで平戸牛である。友人の一人が孫に送るんだというのである店に立ち寄った。買い物が終わり、最後に恐る恐る店のおやじさんに切り出した。

「愚問ですが、平戸牛っていつごろから始まったんですか？」

「昔からです。」

「昔って明治のころからですか？」

「もっと昔です。」

「江戸時代？　その頃日本人は四つ足の動物は食べなかったんじゃないですか？」

「はい。日本人じゃなかとです。」

ふるさと長崎は世界平和のシンボルだ！

古家　秀紀（大村市）

私は昭和28年、中学1年生の時にふるさとの大村市を離れて東京に来た。爾来57年の月日が過ぎたことになる。今でも家族の会話には大村弁が残り、食事にも大村時代のにしめが出る。郷愁は強く、心はいつも長崎県人である。

太平洋戦争は、5才の時に大村で終わった。戦時中は空襲警報が鳴るたびに近隣の防空壕まで必死に走って逃げこんだり、灯火管制の時は蝋燭の火をたよりに玄米が入った一升瓶を両股に挟んで米搗きをしたことなど、子供ながらにいろいろな体験をした。とりわけ長崎に原爆が落ちた時は、浜辺にいて、原爆の炸裂と閃光を仰角の上空に見た。当時の様々の情景が今でも鮮明に脳裏に浮かぶ。戦争が終わって間もなく、占領軍の兵隊達がブルドーザを持ち込んで大村市内の国道を整備したが、その工事現場を友達と見に行った帰りにチューインガムやトマトをもらい、今思うと、それは私にとって生まれて初めての外国人との出会いであり、異文化への接触だったことになる。

長じて、貿易業界に身をおき定年までの44四年間、世界各地を仕事で訪問、そして幾つかの国に駐在した。その間、各国の人達から〝Where is your home town?〟と聞かれる度に、私のふるさとは「長崎」と答えるだけで相手は即座に理解した。長崎の地名は被爆都市として、世界中に知れ渡っているために、場所に関する詳しい説明は不要で「長崎」と言うだけで十分だった。しかし、相手は原爆被害に関心を持ち、私の感想を聞いてくるのが殆どで、私は彼等に日本の戦争体験と核戦争の悲惨さを語り、人類の発展にとっては核兵器の廃絶と戦争なしの世界を築くことが如何に必要であるかを話し、日本政府と彼等の政府が協調してこの目標を達成するように国際社会の声を高めることこそ重要なのだとお互いに納得して話を閉じるのが常だった。

広島もそうだと思うが、長崎県民は、世界と子供達に対して核兵器を地球上で二度と使わせないと主張する権利を有し、義務を負っていると思う。オバマ米国大統領が核兵器の全廃に向けた外交交渉を開始したことを評価する。思いつきだが、例えば、長崎県が国連と交渉してそのサポートを取り付けた上で「世界平和センター」の如き、国連施設を県内に立上げ、県が世界中の人達と連携して地球上から戦争をなくし核兵器を廃絶する平和運動の旗手になることを宣言して、組織的に行動するのはどうだろう。このアイデアが実現すると、長崎の経験と文化が人類の幸せ作りに役立つことになり、併せて長崎の更なるイメージアップにもつながる。国連や各国の政府・平和団体・一般市民も長崎が主催する、このセンターで国際会議や平和祭に参集するので、県の観光産業や土産物産業を振興するのにも役立つと思う。

単に、県の悲しい被爆体験を伝えるためではなく、二十一世紀の人類に貢献する前向きのプロジェクトとして実施されることになれば、県民の誇りにもなると思う。



ESSAY

ザルツブルグの旅－補足

男澤　浩一
長崎県人クラブ理事
日本モーツアルト協会会員（K437）

本年正月号（No・38号）掲載の表題エッセイについて、少し補足することをお許し下さい。ザルツブルグの旧市街にゲトライデ通りという目抜通りがあります。大型バス一台がやっと通れる位の狭い通りながら、両側には世界の一流店が軒を連ねています。ただ、商業的な看板を掲げることが美観上許されず、地味ながらも工夫が凝らされた看板が軒を連ねており、看板から何のお店なのか想像しながら散策するのも楽しみのひとつであります。

また、市内の主要交通機関はトロリーバスです。排気ガスを出さずクリーンで静かな乗物なのですが、市電と異なり架線を二本必要とするため、上を見上げると鬱陶しく感じられるのが難点です。

此処ザルツブルグは、他のヨーロッパの都市同様に古い歴史を持つ街だけに、皆様も一度訪問されて新しい発見をなされることを是非お勧めいたします。

〈むぎ焼酎壱岐〉が大健闘！ 全日本綱引選手権16年連続出場

平成22年3月7日、東京・駒沢オリンピック公園体育館で開かれた全日本綱引選手権に長崎県代表として16年連続出場した「むぎ焼酎壱岐」チーム（玄海酒造後援）が強豪相手に3勝3敗と大健闘した。東京雪州会や長崎県人クラブ関係者ら約100人の大応援団も大いに盛り上がった。

同選手権は都道府県代表と全国各ブロック代表約60チームが出場し、綱引日本一を競う全国大会。当日は寒さと雨に見舞われたが、東京雪州会関係者を始め、長崎県人クラブの松山政義、吉田牧男の両常務理事らも駆け付け、焼酎片手に応援にも熱が入る。

最終戦の相手は宮城県勢。宮城がじりじり引き付け壱岐は勝敗ラインまで残り10センチ。誰もが敗北を覚悟した瞬間、壱岐チームは粘って底力を発揮し、最後は一気に相手を引き倒す大逆転劇に応援団も大興奮。綱引の醍醐味を実感。競技後は会場を恵比寿に移して懇親会。後援する玄海酒造の山内賢明会長は「これで20年連続出場への夢が大きく膨らんだ」と20回連続出場を宣言、気勢を上げた。

（東京雪州会副会長兼幹事長　牧山康敏）



新会長に長峰隆徳氏 壱岐高東京同窓会開く

壱岐高東京同窓会は平成22年6月26日昼、東京都港区の「はあといん乃木坂」で第19回総会を開きました。総会では久原順一会長が昨年10月に創立100周年を迎えた母校壱岐高校の記念式典の模様などを報告。

来賓として壱岐から壱岐高校同窓会副会長の西村善明氏、また壱岐商業高校関東会副会長の吉野弘一氏を含め、全体で60余人が出席。また総会では役員改選に伴い久原会長の後任の新会長に長峰隆徳副会長（任期2年）を選出し、今後2年間、新執行部で会を運営していくことになります。

総会に続く懇親会では歴代同窓会長や山内賢明東京雪州会会長らを始め、壱州弁が飛び交う中、あちこちで大きな笑い声が響き、それぞれに東の間の青春をエンジョイしていました。特にアトラクションでは長田玲子さんが所属するフラダンスチームのメンバーによるフラダンスが披露され、最後には参加者一同が大きな輪になって一緒に踊るなど会場はさらに盛り上がり、一本にまとまった瞬間でした。さらに全員がビンゴゲームに興じ、景品の故郷壱岐特産メロンやカスマキなどの土産物が入った包みを手に大喜びのうちに閉会となりました。

（壱岐高東京同窓会幹事長　森山実）



猶興館東京同窓会　平成22年度総会開く

平成22年5月29日恒例の同窓会総会・懇親会をグランドプリンスホテル赤坂で行いました。

当同窓会も260名を際にリーマン・ショック、インフルエンザ騒動と徐々に参加者が減少し、頭の痛いところです。今年は母校創立130年の節目の年でもあり、何とか増員を図るべく、いろいろ思考を凝らしたのですが、世の中の経済情勢には勝てず、残念ながら多少の減少に終わってしまいました。

今年は当同窓会、役員の任期満了の年でもあり、新しい役員が誕生しました。3期6年の長きに亘り会長を務めた前田会長が退かれ、新会長に私、岩崎が就任することになり、岩崎の下、新役員が誕生したわけです。今後2年間、刷新された役員で当同窓会を運営することになりますが、会員相互の親睦はもとより、地域団体との交流を図り、情報を密にして行きたいと思っています。

参加者は多少減少しましたが、アットホームな良い総会に成ったと自負しています。イベントに前会長、前田ファミリーによるフラダンス、本場のライセンスをお持ちのフラダンスは満場の喝采をいただきました。

また、母校創立130年記念事業のための会員によるお宝オークションは意外な反響を呼びました。当代松浦当主からもご拝領の品をいただき、テンポの良いオークショナーに乗せられ、思わぬ高値がつくお宝が続出、お陰様で当同窓会の面目が立った次第です。

卒業者が減少するなか、若い参加者を如何に増員するか、3年前からお子様ずれの参加を実施して参りましたが、お陰様で年々増え、減少が続くなか一条の光を見出した思いです。（会長　岩崎勝也）



トピックス

「卒業生から元気と勇気を」平戸高校同窓会東京首都圏支部総会　開催



平成22年6月13日(日)新宿の日本出版クラブ会館で平戸高校同窓会東京首都圏支部総会が開催されました。来賓の猶興館高校同窓会東京支部長岩崎様、松浦高校同窓会関東支部長白石様をはじめ多数の会員の参加で大いに盛り上がりました。今年度は加藤前会長から森新会長に引き継ぎがあり、大石睦彦名誉会長が「東京・平戸北松会会長」に就任された紹介もありました。

学校からの報告として、①生徒が真摯に学校生活を送っていること②今年度も99・9％の出席率であること③地域に根ざした学校行事に取り組んでいることなどを報告しました。

平戸高校の卒業生が、各分野の第一線で活躍され、重要な地位にあることに、元気と勇気を貰い、後輩もより逞しく育てようと思いました。以前のように「全国大会出場」といった盛り上がりの機会を再現しようと思い、東京を後にしました。

（平戸高等学校長　川上久夫）

長崎西高在京同窓会　盛大に開催！



平成21年10月31日、飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントにて参加者二百数十名を超える規模の同窓会になりました。当番幹事は37回生(昭和60年卒)。長崎から校長先生はじめ多数の恩師、本校同窓会、関西、九州同窓会の各会長そして長崎県下の高校のゲストをお迎えし、盛大に開かれました。

長商同窓会関東支部総会　豪華客船にて開催

長商同窓会関東支部総会は、平成22年5月22日(土)好天の下、豪華客船シンフォニー　クラシカ号(一一〇〇㌧)で開催されました。

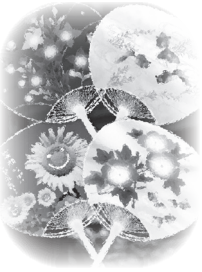
総会は大滝淳子さん(新制15回)の司会で午前11時50分に出航とともに始まり、関東支部会員で前年の物故者4名の冥福を祈る黙祷を行った。大町支部長(新制15回)の挨拶に続き、来賓の紹介があり、来賓を代表して長商同窓会本部高尾勝昭副会長、母校長崎市立商業高校真木正英校長の挨拶があった。今回出席の最長老坂木茂太郎(旧制54回)氏というより母校の簿記と剣道部の顧問、坂木先生といったほうがわかりやすいかと思いますがその坂木さんの挨拶と乾杯の音頭で懇親会に入りました。

船室は2階の前方にあり、眺望の良い、いかにも豪華客船の趣で、東京湾を１３０分のランチクルージングです。出航後、ほとんど揺れを感じないまま、デッキでは5月の風を心地良く受けながら日の出埠頭からレインボーブリッジをくぐり、左手に船の科学館を見て、その後大きく左に舵を取り、右手に中央防波堤を眺めながら若洲海浜公園で右に舵を切ります。東京湾の中央に出て、少し左に舵を切り、左手遠方には東京ディズニーランドを、その後東京灯標を回り込むようにして、建設の進む新東京国際空港を左手に見ながら城南島を経て日に出埠頭に戻ります。

東京灯標を回った辺りで恒例の抽選会となり、名前を呼ばれるたびに歓声を上げ、前に出て景品を貰い、まだ名前を呼ばれない者は、まだかと首を長くして抽選箱に見入っておりましたが、出席者全員に景品は行き渡り、安堵と喜びが溢れておりました。日の出埠頭に着く前にはカラオケタイムに入り、皆さん長崎の歌をエントリー、大合唱のうちに埠頭に着岸。校歌を合唱して、緒方仁氏の中締めでお開きとなりました。

下船後、集合写真を撮り、そこで解散しましたが、各々友人と連れ立って新橋、銀座界隈に消えて行く姿が見受けられました。ちなみに筆者は、同期10名で銀座吉宗に向かい、蒲鉾、茶碗蒸し、ちゃんぽん、皿うどんを楽しみ、故郷の味で同窓会を締めました。





今回は坂木先生が出席されるとのことで、わざわざ長崎から12回の陣野寿恵子(旧姓三宅)さん、大阪から19回元剣道部の片山利明氏が遠路参加してくれました。関東支部の会員、旧制54回から新制24回まで、34名の出席でいつもより少ない参加者でしたが、老いも老いもの総会でした。

（幹事長　伊藤六夫）

Topics

恒例！　うまか市　大いに賑わう



平成22年5月22日（土）、新宿区四谷にある長崎県東京産業支援センターの1階出島厨房テラスで「ながさき産直うまか市」が開催されました。

当日は、大変天候にも恵まれ、多くの買い物客で賑わいました。特に旬の「茂木びわ」は、これを目当てに訪れるリピーターの方もいるほどの人気商品で、飛ぶように売れていました。また、今回は雲仙市からの参加もあり、特に、愛の小町（じゃがいも）、エコファーマが作った八斗木ねぎが人気でした。また、定番の「長崎蒲鉾」、きびなごやかますなどの「平成長崎俵物」、「五島うどん」「カステラ」も人気で、試食もあり、はやばやと完売する商品も出るほどお買い求めいただきました。いつも楽しみにしている。今度はいつ開催かとお尋ねになるリピーターの方もあり、地元に定着化しつつあることがわかり、うれしく思いました。

次回は、10月16日（土）の開催を予定しております。皆様のご来場をお待ちしております。

なお、長崎県のイベントにつきましては、長崎県東京事務所のＨＰをご参照ください。

（長崎県東京事務所　馬場久司）

東京対馬高校同窓会および東京対馬会合同新年会



東京対馬高等高校同窓会および東京対馬会は、平成22年1月23日、合同新年会を開催しました。両会は、同じ「対馬を縁」として連携しており、新年会も役員を中心に昨年より合同で開催としています。

当日の出席者は23名。故郷を懐かしみ、現代の過疎化への対策を語り合いました。特に、郷土の史家である永留久恵氏著「対馬国志」が昨年刊行されたこともあり、同書の中で触れられている「古代神道」への内容について大いに盛り上がりました。

また、2月14日は観梅会ということで、湯河原梅園への日帰り旅行でした。これは昨年から始めた企画で（昨年は小田原・曽我梅林）、参加者は同窓会メンバーにその家族、友人が加わり、総勢43名。料理名人渡辺将雄氏（魯山会料理研究会名誉会長）の料理に舌鼓を打った後、本命の梅見散策。約千本の紅梅、白梅は山の斜面を利用したもので、平成8年からの公開とか。梅は3～5分咲きながら、至る所で馥郁とした香りを放っており、川のせせらぎの音と相呼応し、とても豊かな気持ちになりました。

その後、人間国宝美術館（人間国宝の作品約50点を展示）を訪ね、最後は万葉公園にて「足の湯」につかり、のんびり気分。往復のバスの車中ではユニークな自己紹介と対馬と龍馬伝に関わる難問クイズへ挑戦。大いに賑わった旅行でしたが、返りは大渋滞に巻き込まれ、予定時間をかなり超過して品川駅着。春の行楽の企画として、反省点もありでした。

（東京対馬高等学校同窓会会長　歌野　宏）

長崎県人クラブ第39回定時総会

長崎県人クラブは平成22年5月17日、第39回定時総会を開催しました。

▼第一号議案　平成二十一年度　事業報告
▼第二号議案　平成二十一年度　収支決算案
▼第三号議案　平成二十二年度　事業計画案
▼第四号議案　平成二十二年度　収支予算案
▼第五号議案　役員改選案
▼第六号議案　規約改正案

いずれの議案も採択され、本年度の運営方針が決まりました。新理事長には山内賢明氏（壱岐市出身）が就任されました。新任の理事には福田俊男氏（大村市出身）、上野實氏（平戸市出身）、豊浦隆彦氏（佐世保市出身）、浦松敏和氏（佐世保市出身）、今村勇雄氏（五島市出身）の諸氏が就任されました。

（内堀勝之）

トピックス

長崎県立清峰高校野球部「夏の甲子園4回目出場を祈願し吉田監督、井出部長を激励する集い」



長崎県立清峰高校野球部「夏の甲子園4回目出場を祈願し吉田監督、井出部長を激励する集い」が平成22年6月29日(火)九段会館‥翡翠の間にて開催されました。

主賓として吉田洸二監督、井手亮介部長兼コーチ、来賓として「東京・平戸北松会」名誉会長　上野實氏ほか会員の皆様、ゲストには甲子園で活躍した広滝、川本、山口、中山君らが招かれ、関東在住のほか名古屋、大阪、宮城から参加したOBを入れて45名が集まりました。

竹久氏の軽妙な司会のもと、野球部OB会関東支部長酒井氏から開会の挨拶をいただき、乾杯の音頭を上野氏から、乾杯は完敗になるといけないので「敢闘」との祝杯を全員で唱和し、記念品として「イチロー9年連続200本安打記念カレンダー」が贈呈されました。

歓談の後、吉田監督より、井手部長の紹介がありました。井出部長は長崎西高校野球部キャプテン、エースで4番、九州大会準優勝経験し、筑波大学を卒業、難関の県教職員試験に合格、昨年4月清峰高校に着任されました。ここで井手部長が挨拶され、赴任した昨年4月優勝旗を迎えたのが印象的だった、「今年は甲子園に行く」と力強い言葉がありました。

再度吉田監督から、今年は長崎日大が強いが実力差はあまりない、「この夏は頑張る」と心強い言葉で締めていただきました。

閉会の挨拶を辻氏から、一同揃っての記念写真の後、同窓会関東支部長の守山より、夏甲子園出場を祈念して一本締めをして散会いたしました。

(守山泰弘)

長崎県人クラブ新年賀詞交歓会



平年を上回る気温が続いた平成22年1月22日、ホテルオークラ・コンチネンタルルームにて恒例の新年賀詞交歓会を開催しました。

ゲストとして長崎市役所二胡愛好会の皆様を迎え、哀愁を帯びた二胡の演奏で故郷を思い浮かべました。テノール歌手・会員の於保さんも応援され、大合唱に拍手喝さいでした。

(文‥内堀勝之・写真‥宅島正二)

超音波洗浄器
アイワ医科工業株式会社
代表取締役　本田武利（諫早市高来町出身）
〒113-0033　東京都文京区本郷3-25-4
電話：03-3814-2291(代)
FAX：03-3814-2197

＊超音波洗浄器製造一筋40年。
＊医科・歯科・理化・工業・宝飾等多方面の業界において活躍。
＊硝子器具・手術器具・機械部品等あらゆる分野の精密洗浄に最適。
＊全80機種の標準製品を在庫。

「ビッグバンドの演奏で親睦を深める」平成22年度東京対馬会定期総会



東京対馬会（中庭敏会長）平成22年度定期総会は平成22年5月23日（日）正午から品川駅前のグランドプリンス新高輪「飛鳥」で開かれました。

東京対馬会は創立百周年を過ぎて今年は少しリラックスした総会にしたいという役員会での企画で、アトラクションなどに趣向を凝らしたものとなりました。

総会では中庭敏会長の挨拶に続き、各議案を全員異議なく原案どおり決定した後、来賓を代表し、対馬市財部能成市長から対馬市の近況と市政の課題等を含めてご祝辞をいただきました。

ご来賓として国会関係の方々、長崎県関係から長崎県東京事務所増井次長、東京諫早会・東京五島会・東京雪州会等から代表の方々、また女優の小山明子さんなど多くのお客様のご出席もいただきました。また、対馬が大好きという方々も賛助会員として多く参加いただき総勢約90名で大いに盛り上がりました。

アトラクションで21名編成のビッグバンド（石井和宏withサウンドブリーズ）によるジャズやラテン、日本の歌などの演奏と、オペラ歌手の中村まきさんの歌唱など音楽を楽しんでいただき、参加した会員からはしゃれた雰囲気で楽しめた。来年も参加したいなどの意見も聞かれました。

会場内では対馬のB級グルメ「トンちゃん」や郷土対馬の物産コーナーなども出店され皆さんお買い物も楽しんでいただき午後3時に閉会しました。

（東京対馬会幹事長　糸瀬敬一）

長崎びーどろ会「ハタ揚げ大会」を開催しました



恒例の「ハタ揚げ大会」が平成22年4月29日（みどりの日）に開催されました。

今年は前日までの大雨で、所々に水溜まりが有り、足場が悪い中では有りましたが、久しぶりの晴れた天候に常連の方々が大勢参加して頂きました。昨年からの南山高校同窓会と長崎青雲高校同窓会の他、オブザーバーで北陽台高校のOBも30名余り、他に川平小学校卒業のグループ等の参加が有りました。

今回も、昨年に引き続き、山内会長率いる雪州会からは80余名の方の友好参加を頂きました。

壱岐の鬼凧（おんだこ）の披露をと頑張って頂きましたが、残念ながら風が強過ぎて、天空を舞う姿は見られませんでした。

今回の余興の目玉として、「東龍倶楽部」の特別出演を頂きましたが、途中で小雨がパラついたり、突風が吹いたりで、龍踊りの披露は有りませんでしたが、お囃子があり、それなりの雰囲気は楽しめ、龍と一緒に写真を撮ったりされる方も多くいらっしゃいました。

会場は毎年同じ所の、大田区多摩川緑地区民広場で行い、チャンポン、皿うどん、スライスからすみ等その場で食べられるものから、郷土長崎から取り寄せた、かんぼこ、島原そうめん、うどん、チョーコー醤油各種等お土産品まで販売いたしました。

その他、中華菓子の皇帝と言い切る長崎蘇州林のマファール麻花兒（よりより）を、ご提供を頂き、参加者に振る舞われました。

また、京浜共同劇団の城谷さんによる腹話術（長工）、歌手の西森みわさんの歌謡ショーで、ハタあげの賑わいに華を添えて頂きました。ちびっ子たちが大喜びで、腹話術のゴロちゃんと一緒になりクイズに挑戦したり、一緒に記念写真を撮ったりと、相変わらずの人気者になっておりました。

今年は風が強くて、一部の方しか高く揚げておられませんでしたが、ハタ揚げの講習等を行い、もっと大勢の方にハタ揚げの優雅さを味わって頂きたいと思います。

青空のもと、新緑の河川敷ですので、家族連れでのご参加をお待ちしております。

（文：小柳哲敬、写真：長崎市東京事務所　山内豊和）



新刊紹介

「龍馬の長崎」

本田貞勝 著

長崎文献社　価格1470円（税込み）



長崎の高校の友人で東京での会社勤めを終えて、故郷の高知の山奥に帰り、「龍馬庵」という部屋を作った男がいる。龍馬の悪口を言ったことがある。龍馬は司馬遼太郎が「竜馬がゆく」で作ったのではないのかと。友人はかんかんになって怒った。

小中高と長崎で過ごしたが龍馬に関心を持ったことはなかった。30年前位に通勤の合間に時間つぶしに「竜馬がゆく」を読んだ記憶はある。

ところが今年のNHKの大河ドラマで「龍馬伝」が放映されてから龍馬に興味を持った。龍馬は1836年から1867年までを生きたが1939年生まれの評者から見ると約100年違いであまり古い話ではない。「龍馬伝」で主役がなぜ長崎出身の福山雅治であろうかなどと、龍馬と長崎との関係をもっと知りたい。

（内堀勝之）

「温室効果ガス25％削減は実現できる！」

森谷正規 著

東洋経済新報社　価格1600円＋税



鳩山前首相は、日本は2020年までに温室効果ガスを1990年比で25％削減すると、国連で宣言した。菅首相も、その政策は実施していく方針である。この25％削減は、日本の企業、国民にとって負担が大き過ぎるとの批判があるが、技術評論家である著者は、決して負担でなく、経済発展に大きなプラスをもたらすと力説している。太陽光発電を始めとして、家庭用燃料電池、新型蓄電池、LED照明、石炭ガス化複合発電、高速鉄道など10の分野を挙げて、技術の進展を基に将来を展望していて、それぞれ具体的であり、信じることができる。

これを「温暖化防止インダストリー群」として、産出額は2020年に50兆円が期待できて、自動車産業に匹敵する巨大産業の誕生であり、これこそが新成長戦略の主柱になると強調する。それには、ガソリンエンジン単体の乗用車は2020年までに国内では販売を禁止するなどの強力な政策が必要であると言う。さて、政府が25％を目指して、大胆な政策を実施できるのかどうか、いまの閉塞した社会を脱していくには、それが不可欠ではないか。

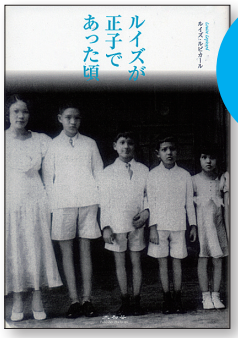
（牧山康敏）

「ルイズが正子であった頃」「正子がルイズに戻った後」

ルイズ・ルピカール 著

発行所　未知谷

二部構成



この6月に読んだ本の中で75年前の長崎県矢上村を、つい先日のように鮮明に思い出した。地図を見たが近年の長崎県にその地名は見当たらなかった。著者は昭和5年、6年頃から毎年夏休みを過ごすためにサイゴンから一家で母の故郷、長崎県戸石（通称：といす）にヴァカンスを楽しみに来ていた。ところが昭和12年夏、日中戦争勃発によりサイゴンに帰国できない日本の状態に陥り、以降、一家は昭和23年まで戸石での生活を余儀なくされることに始まる。父フランス人、母戸石の人、思わず先を読みたくなる一冊。

（東京対馬会　江原若菜）

水とともに輝く
三輝工業株式会社
代表取締役 木戸紀雄
URL http://www.sanki-kogyo.com

本　社　〒103-0004　東京都中央区東日本橋 3-10-14 サンライズ橋 8F
☎03（3667）3041〔代〕　FAX03（3667）8268
E-mail:info@sanki-kogyo.com

千葉工場　〒289-1107　千葉県八街市八街は 1-59
☎043（443）9711〔代〕　FAX043（443）9884
E-mail:chiba@sanki-kogyo.com

佐倉工場　〒285-0812　千葉県佐倉市六崎 560-3
☎043（481）2101〔代〕　FAX043（481）2102
E-mail:sakura@sanki-kogyo.com

新チキン
はじまる。

i'm lovin' it





new CHICKEN BURGER
SALT&LEMON (無果汁)

パリッと素揚げのような
新食感チキンを、塩とレモン風味で。
まるで"初恋"のようなトキメキの味わい。
ジューシーな一枚肉のモモ肉で
ボリュームもたっぷり！



new JUICY CHICKEN SELECT

サクッとスパイシー、うまみがジュワッ。
カットの方法や
衣の厚みまで工夫した若鶏のモモ肉。
これぞ"素顔のまま"の
チキンのうまさです。



new CHICKEN BURGER
AURORA

ケッパー、オニオン、細かくしたピクルスの、
具だくさんなオーロラソースに、
ベーコンやチーズもサンドして。
それは、一枚肉のやわらかなムネ肉との
"奇跡"のようなマリアージュ。
想像を超える、リッチな味わいと食べごたえです。

期間限定

※一部店舗では販売しておりません。※チキンバーガーは、朝マック販売店舗では10:30からの販売。※詳しくはホームページまで
※お問い合わせは、日本マクドナルド株式会社 お客様サービス室 0120-010-916 受付時間9:00-17:00